



木山校長のきやまるじゃーなる 3月18日号

新たな年次に向けて ～「生きる力」を高めるために～

これからの教育は①「何を学び」、②「どのように学ぶか」自己決定が必要・・・

◆まもなく令和6年度（年度は4月始まり3月終わり）が終わります。生徒のみなさんも今の学年が終わり、次の学年へ進級していきます。この1年間の加古南での生活は充実していましたか？ 先日、卒業式がありました。3年次生たちはいよいよ社会の荒波にもまれながら、それぞれが懸命に生きていくこととなります。負けずに頑張ってくださいと思います。

◆今年度、何度も皆さんに訴えてきましたが、今の世の中は何が起こるか分からない、まさに変化の激しく予測困難な時代といわれています。こんな正解が分かりにくい世の中でも「たくましく生きていく」ため、私は今年のキーワードとして「①絆、②自信、③極み」を意識しようと訴えてきました。今年度1年間で「①絆、②自信、③極み」はどの程度深まったり高まったりできましたか？ 来年度のため振り返ってみましょう。さて・・・



◆毎日放送（4チャンネル）毎週日曜午後9時から「御上先生」というドラマが放映されています。（松坂桃李主演！文科省のエリート官僚が日本の教育を変えるべく高校教師となり、



令和の18歳高校生たちと共に日本教育に蔓延る腐った権力へ立ち向かう大逆転教育再生ストーリー！）主人公の御上先生（松坂）が赴任する高校は進学校ですが、ドラマに出てくる高校は、今求められている教育が行われている学校が設定されています。その学校は「生徒自らが考え、話し合い、決定し、行動する」教育（自己決定する主体性）が具現化されています。もちろん御上先生が受け持つクラスではさらに深化しています。

◆御上先生の撮影にあたって主演の松坂桃李さんをはじめ、キャストや脚本家などのスタッフは、この学校のモデルとなった横浜創英中学・高等学校の前校長、工藤勇一先生から「今求められる教育」についてお話を伺ったそうです。工藤先生曰く「一番熱心に聞いていた」のは主演の松坂桃李さんだったとか。だから、ドラマでは落ち着いたキャラクターになったのねと私は納得しています。御上先生は生徒の主体性を促すよう生徒たちに落ち着いて話しかけ、じっくり考え判断させ、そして行動につなげるという主体性を育成しているのです。

◆先日、機会あって工藤勇一先生の講演を聴いてきました。工藤先生はこの変化の激しい時代を子どもたちがたくましく生きていくため、東京都千代田区立麹町中学校では、世の中の「当たり前」をやめるという学校改革で話題になった校長先生です。例えば、「宿題」「定期テスト」「頭髪・服装指導」「担任制」をすべて廃止しました。そうして生徒の「自己決定」を促し、「自律型」に変えていくことが今後の時代にとっても重要だと力説されていました。

◆加古南のみなさんもこの1年で大きく成長したことと思います。特に「生徒自らが考え、話し合い、決定し、行動する」といった「主体性」のある生活を送っている生徒ほど、大きく成長できるのだと私も思います。これからも今年のキーワード「①絆、②自信、③極み」を意識しながら、次の学年でさらにみなさんの「生きる力」を高められることを大いに期待します。



今後の予定

3/19(水)	合格発表
3/21(金)	終業式 合格者説明会
3/22(土)～4月7(月)	春季休業
4/8(火)	始業式 入学式
4/9(水)	対面式
4/10(木)	部紹介 離任式

木山校長の
毎月16日更新

きやまるじゃーなる